



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月29日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	48,344	3.2	4,396	3.7	4,692	3.7	3,079	6.7
29年3月期第3四半期	46,849	3.5	4,565	9.1	4,870	7.4	3,298	0.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,260百万円 (30.5%) 29年3月期第3四半期 3,265百万円 (9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	103.01	102.88
29年3月期第3四半期	110.42	110.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	80,167	64,161	79.9
29年3月期	73,845	60,903	82.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 64,094百万円 29年3月期 60,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		17.00		18.00	35.00
30年3月期		18.00			
30年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,600	4.5	5,450	1.8	5,750	0.8	4,000	5.5	133.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	34,991,521 株	29年3月期	34,991,521 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	5,085,916 株	29年3月期	5,108,269 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	29,893,553 株	29年3月期3Q	29,874,918 株

(注)期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に雇用環境や所得の改善が続くなど、緩やかな回復基調が続いていますが、食品業界においては、消費者の根強い節約志向もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおいては、年間を通じて最大の繁忙期である年末商戦に一丸となって取り組みました。

売上高は、惣菜製品、デザート製品が前年実績を大きく上回り、豆製品、ヨーグルト製品、昆布製品が伸長したことから、483億44百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

しかしながら、利益面では、人件費及びエネルギー費用等の増加で売上原価率が上昇したことにより、営業利益は43億96百万円（前年同四半期比3.7%減）、経常利益は46億92百万円（前年同四半期比3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、30億79百万円（前年同四半期比6.7%減）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、日配惣菜の継続的な伸長とともに、包装惣菜では平成29年9月から販売エリアを全国に拡大した少量食べきりタイプの「おぼんざい小鉢」シリーズが大幅に伸長したことから、惣菜製品全体の売上高は前年実績を大きく上回りました。

昆布製品は、とろろ昆布が前年実績から大きく減少しましたが、業務用チャネルの拡大等にも取り組んだ塩こんぶが前年実績を大きく上回ったことから、昆布製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

豆製品は、個食ニーズに対応した食べきりタイプの「おまめさん豆小鉢」や、「そのままがおいしい蒸し大豆」など蒸し豆が大きく伸長したことから、豆製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

ヨーグルト製品は、「カスピ海ヨーグルト」の特長の一つである「ねばり」をテーマとしたTVCMを放映したこと等により、ヨーグルト製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

デザート製品は、競争激化により依然として厳しい市場環境が続いておりますが、「フルーツセラピー」シリーズにおいて発売から15周年を記念したリニューアルを実施するとともに、期間限定商品「カラカラ&ブラッドオレンジ」、「ゆず」等を投入した結果、デザート製品の売上高は前年実績を大きく上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ63億22百万円増加し、801億67百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ17億67百万円増加し、340億56百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ45億55百万円増加し、461億11百万円となりました。これは主に、和田山工場新工場棟竣工に関連する有形固定資産の増加によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ26億79百万円増加し、136億31百万円となりました。これは主に、和田山工場新工場棟建設に関連する未払金の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億84百万円増加し、23億74百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ32億58百万円増加し、641億61百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.4%から79.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（平成29年3月期決算発表）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,635	12,275
受取手形及び売掛金	8,713	13,111
商品及び製品	972	1,036
仕掛品	321	280
原材料及び貯蔵品	5,965	6,520
繰延税金資産	422	512
その他	261	324
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	32,288	34,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,080	35,172
減価償却累計額	△21,556	△21,847
建物及び構築物(純額)	11,524	13,324
機械装置及び運搬具	23,533	25,217
減価償却累計額	△16,092	△16,314
機械装置及び運搬具(純額)	7,441	8,903
工具、器具及び備品	1,855	1,939
減価償却累計額	△1,521	△1,577
工具、器具及び備品(純額)	334	361
土地	13,118	13,249
建設仮勘定	1,051	758
有形固定資産合計	33,469	36,598
無形固定資産		
ソフトウェア	165	151
その他	151	176
無形固定資産合計	317	328
投資その他の資産		
投資有価証券	6,365	7,838
繰延税金資産	67	9
その他	1,345	1,346
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,768	9,185
固定資産合計	41,556	46,111
資産合計	73,845	80,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,111	5,360
短期借入金	-	300
未払金	4,094	5,730
未払法人税等	1,024	684
未払消費税等	253	161
賞与引当金	601	122
預り金	145	397
その他	721	874
流動負債合計	10,952	13,631
固定負債		
長期末払金	337	273
繰延税金負債	501	927
退職給付に係る負債	1,094	1,119
従業員株式給付引当金	57	54
固定負債合計	1,989	2,374
負債合計	12,942	16,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,421	7,449
利益剰余金	52,136	54,135
自己株式	△7,009	△6,978
株主資本合計	59,115	61,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,867	3,030
退職給付に係る調整累計額	△127	△109
その他の包括利益累計額合計	1,739	2,920
新株予約権	48	67
純資産合計	60,903	64,161
負債純資産合計	73,845	80,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	46,849	48,344
売上原価	26,912	28,203
売上総利益	19,936	20,141
販売費及び一般管理費	15,370	15,744
営業利益	4,565	4,396
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	147	154
受取賃貸料	58	66
売電収入	36	38
事業譲渡益	52	-
その他	51	77
営業外収益合計	347	336
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	22	21
売電費用	15	15
その他	3	3
営業外費用合計	42	41
経常利益	4,870	4,692
特別利益		
投資有価証券売却益	50	145
国庫補助金等収入	21	-
特別利益合計	72	145
特別損失		
固定資産処分損	37	158
投資有価証券売却損	2	-
関係会社株式評価損	105	-
減損損失	-	215
特別損失合計	144	374
税金等調整前四半期純利益	4,797	4,462
法人税、住民税及び事業税	1,554	1,507
法人税等調整額	△56	△123
法人税等合計	1,498	1,383
四半期純利益	3,298	3,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,298	3,079

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,298	3,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	1,163
退職給付に係る調整額	18	18
その他の包括利益合計	△33	1,181
四半期包括利益	3,265	4,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,265	4,260
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	14,331	30.6%	15,102	31.2%	771	18,920	31.1%
昆布製品	13,595	29.0%	13,665	28.3%	70	17,516	28.8%
豆製品	10,685	22.8%	10,979	22.7%	294	13,702	22.5%
ヨーグルト製品	4,684	10.0%	4,855	10.0%	170	6,216	10.2%
デザート製品	2,531	5.4%	2,684	5.6%	152	3,177	5.2%
その他製品	1,021	2.2%	1,056	2.2%	35	1,328	2.2%
合計	46,849	100.0%	48,344	100.0%	1,495	60,860	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。